

取扱説明書

この度は、ベストワンシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。誠にありがとうございました。本取扱説明書には取付け及び操作手順が説明してあります。正しく使用いただく為に取扱説明書をよくお読みなさい。なお、この取扱説明書は紛失、破損等のないよう保管しておいてください。万一、ご使用中に不具合等が発生した場合にお返立てください。

1 ご使用前の注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。(ただし、内蔵のカドニカ電池、吸盤などの消耗部品は保証の対象にはなりません。)
 - 万一、製品本体にロット番号シールが無い場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
 - 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
 - 本製品の分解や改造は絶対にしてしないでください。
 - 本製品は、レーダー方式(Xバンド・Kバンド)の速度取締り機のみ有効で 光電管式・ループコイル式・ワイパー式等、他の方式による速度取締り機には反応しません。
 - 取締りレーダーと同一周波数のマイクロ波を使用した機器(下記)周辺で、レーダー受信機が受信することがありますが、これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。
(自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダー・航空用レーダー)
 - 一部のナビゲーションシステム装着車において、ナビゲーションシステムからの漏れ電波により、レーダー受信機が誤作動する場合があります。
 - 車を長時間ご使用にならないときは、必ず本製品の電源をOFFにしてください。
 - 太陽電池の充電量は使用環境(気象条件・駐車中の日照状況等)の影響を受け易く、通常の使用状態より早く電池が消耗しチャージサインの出る時があります。この様な場合でも充電をさせながら本機を動作させる事が出来ます。
 - 折れガラス装着車はレーダー波の透過率が低いため、探知距離が短くなるおそれがあります。(弊社セパレートレーダー受信機のご使用をお願いします。)
 - 本製品はDC12V/24V車対応です。
 - 使用初期は、本機に振動を与えながらバッテリーチェックスイッチを押しレベルメーターが3個以上点灯すれば充電不要です。2個以下ならレベルメーターが4個点灯するまで充電してください。
 - 内蔵のカドニカ電池は約5年が交換の時期となりますが、使用状況によっては寿命が短くなります。
 - 部品の交換・修理・パーツ購入に関しては弊社サービス部へお気軽にお申しつけください。
 - 本機を厳寒地でご使用になるときは、付属のシガープラグをご使用ください。
 - 環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本機又は、電池の回収箱を弊社に設置しております。
- ※本製品を取付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。

2 各部の名称と付属品



3 充電の方法と注意

- 本機に振動を与えながらバッテリーチェックスイッチを押し、レベルメーターが3個以上点灯すれば充電は不要です。
- 本機に振動を与えながらバッテリーチェックスイッチを押し、レベルメーターの点灯が2個以下の時もしくは、使用中にチャージサインが表示されたら付属のシガープラグコードで充電を行いながら使用してください。

チャージサインの表示	バッテリーチェックの表示	車からの充電方法
<p>モード表示ランプ(緑/橙)のどちらかが点滅します</p> <p>「ピッ・ピッ」と警告音が鳴ります。</p> <p>モード表示ランプ(ダイレクトモード設定中は橙、その他のモード設定中は緑)の点滅と同時に警告音が鳴ります。</p>	<p>モード表示ランプ(緑/橙)のどちらかが点滅状態(待機状態)</p> <p>待機時にバッテリーチェックスイッチを押すと、電池の残量をレベルメーターにて表示します。(レベルメーターは左からの点灯となります。)</p>	<p>1. 本体DCジャックにDCプラグをさします。</p> <p>2. 車のシガーライターソケットにシガープラグをさします。</p> <p>(本体を使用しながら充電することができます。)</p>

充電時の注意

- シガープラグからの充電は、DC12V/24V以外では行わないでください。
- 本機の温度が-5℃～+80℃以外、及び油気の多い時は充電しないでください。
- シガープラグからの充電中、テレビやラジオなどに雑音が入る時は、雑音が入らない場所へ本機を移動させてください。
- 本機内蔵のカドニカ電池は約5年が交換の時期となりますが、使用状況によっては短くなる場合があります。
- チャージサインが出てから完全充電するまでに本機の電源を切った状態で約7時間必要です。
- 本機をバッテリー等へ直接接続しないでください。必ず付属のシガープラグをご使用ください。
- チャージサインが出る前のシガープラグからの充電はなるべく避けて下さい。まれに電池にクセがつき、電池の容量が残っていてもチャージサインが出るようになります。このような場合、ソーラーパネルに太陽光をあてずに完全充電させてから完全充電を2～3回繰り返してください。電池が寿命でない場合は復元します。

4 本機の取付け方法

- 本機取付け時は、必ず付属の取付けステーを使用してください。
- アンテナを車の進行方向に向け、路面に対して平行で、ソーラーパネル全体に太陽光が当たる場所に取付けてください。

ダッシュボードへの取付け

1. ダッシュボードステーをステー用ビスで本体に固定。
2. ダッシュボードステーに両面テープをはる。
3. ダッシュボードに取付ける。
4. ステー各部の調整にて本体の向きを調節する。

フロントガラスへの取付け

1. ダッシュボードステーをステー用ビスで本体に固定。
2. ダッシュボードステーに吸盤を取付ける。
3. フロントガラスに取付ける。
4. ステー各部の調整にて本体の向きを調節する。

5 LSC-Vのセット方法

- LSC-Vは駐車中にムダな警告音や電池の消費を抑える為に、車の走行振動を(30～40km/h以上)を検出して電源の入・切を自動的にに行います。
- 本機の取付け場所によっては、オーディオのスピーカー・エアコンの風・ワイパー作動時の振動等の影響でLSC-Vが正常に作動しない場合があります。そのような場合は、影響のない場所へ付け替えてご使用ください。
- 本機の取付け場所によっては、車の走行振動を検出できずLSC-Vが正常に作動しない事があります。(下記項目を参考にしてください。)

取付け場所	振動の影響
フロントガラス (ワイパーの影響を受けやすい)	強
ダッシュボード	弱

1 エンジンをはかる	2 電源を入れる
<p>エンジンをかけ、アイドル回転状態にする。</p>	<p>電源スイッチを入れる。</p>
3 感度の調節をする	4 確認
<p>LSC-Vボリュームを+から-へ回し、モード表示ランプの消える所であわせる。</p>	<p>車を30～40km/h以上で走行時、モード表示ランプが点滅すれば設定完了。</p>

注意 振動や雨風の激しい場所へ駐車するときは、本機の電源スイッチを切ってください。

6 音量の設定方法

- 走行状態（30～40km/h）と同等以上の振動を常に与えながら操作してください。
- ボイス音は3ステップに変化します「スピードダウン」[注意して下さい]「危険です」。

1 電源を入れる モード表示ランプが点滅 電源スイッチを押す。	2 警告音を鳴らす レベルメーターが左から点灯。 警告音が鳴る。 テスト/ミュートスイッチを押す。	3 警告音を選択する V (ボイス) A (アラーム) 警告音切り替えスイッチをAもしくはVに設定する。	4 音量を調節する 音量ボリュームを回し音量を調節する。
--	---	--	--

8 ミュートの使用方法

- レーダー波の発信源を確認し、まだ警告音が鳴り続ける状況時に、テスト/ミュートスイッチを押すと、レベルメーターは受信状態のまま警告音だけをカットします。
- ミュート状態は、別のレーダー波を受信する前まで持続し、自動で待機状態に復帰します。

1 ミュートスイッチを押す 警告音 レーダー波 レーダー波を受信時にテスト/ミュートスイッチを押す。	2 警告音が消音状態になる 警告音消音 レーダー波 警告音が止まり、レベルメーターのみの警告となる。
--	--

10 オートディマーの作動方法

- レベルメーターの警告ランプの照度を日中は明るく、夜間は暗めに自動的にコントロールし点灯させます。（夜間に使用中、電池の消費を抑える機能です。）
- ※ 日中でも天候や、周辺の状況（トンネル等）によっては暗めに点灯する場合があります。

日中のレベルメータ点灯状態 明るく点灯 レベルメーター等の表示ランプが明るく点灯します。	夜間のレベルメータ点灯状態 暗く点灯 レベルメーター等の表示ランプが暗めに点灯します。
---	--

12 機能用語の説明

待機状態

モード表示ランプが点滅 鳴らない

- モード表示ランプが点滅して、警告音は鳴っていない状態。

L S C - V 作動状態

全LED消灯 鳴らない

- 電源スイッチがONの状態、全てのランプが消えて、警告音も鳴らない状態。

7 受信感度の設定方法

- 走行状態（30～40km/h）と同等以上の振動を常に与えながら操作してください。

1 電源を入れる モード表示ランプが点滅 電源スイッチを押す。	2 感度を設定する モード表示ランプの位置と色が変わる。 感度切り替えスイッチを切り替える。	感度設定の目安・受信状態 モード表示ランプ 受信時レベルメーター表示 感度 左 右 緑 緑 黄 赤 D (ダイレクト) - 橙 D (ダイレクトモード) は郊外や高速走行等に最適なモードです。 S (スーパー) 緑 - H (ハイ) 緑 - 警告音 警告音が鳴る L (ロー) 緑 - 警告音 警告音が鳴らない
--	---	--

9 オートボリュームダウンの作動方法

- 同一レーダー波を15秒以上受信し続けると自動で警告音の音量を下げ、不要となった警告音と電池の消費を抑え、静粛性を向上させます。

1 レーダー波を受信 警告音 レーダー波 レーダー波を受信し警告音が鳴る。	約15秒後	2 音量が下がる 警告音 レーダー波 レーダー波受信後、約15秒後に警告音の音量が下がる。
---	-------	---

11 受信機能について

従来レーダー波の受信

- レーダー波を受信すると、レーダー波の発信源までの距離を警告音の変化とレベルメーターでお知らせします。
- 後方からレーダー波を受信すると、プロジェクターレンズが赤く点灯し、「前後方確認！」というボイス音でお知らせします。

※ 「前後方確認！」というボイス音は、アラームモード設定中でもお知らせします。
前方からの受信であっても電波の分布の状態により、後方受信と判断する場合があります。

ステルス波の受信

- 200m～300m前方の車がステルス型取締り機によって測定された時、ステルス音（ピロ・ピロ）約3秒間警告後、通常警告音に変わりレーダー波の発信源までの距離に応じてレベルメーターの変化で警告します。
- 自動ドアやセキュリティシステム等でもステルス型取締り機と同じ電波分布になった場合、ステルス音が鳴ることがあります。

取締り連絡無線350.1MHzの受信

- 取締り連絡無線（350.1MHz）を受信するとモード表示ランプが速い点滅点灯しピロ・ピロ音で約3秒間警告します。

13 仕様

品名/品番	ベストワン レーダー BF-07S
電源電圧	3.6V (耐熱用カドニカ電池)
電池容量	200mAh
充電入力電圧	DC12V/24V
消費電流	待機時3.3mA (標準) 最大時80mA (標準)
受信周波数	XJ (10.525GHz) KJ (24.200GHz) 取締り連絡無線 (350.1MHz)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式
仕様温度範囲	-10℃～+80℃
充電許容温度	-5℃～+80℃
本体サイズ	W 72mm L 119mm H 22mm
本体重量	150g